

研究課題名「肥満症患者における基礎代謝の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2013年1月1日～2021年3月31日に糖尿病・内分泌内科に入院した糖尿病患者様の中で、Body mass indexが30以上の肥満症があり、入院中に間接熱量測定器を用いて基礎代謝値を測定した患者さん

2. 研究目的・方法

【研究の意義・目的】

肥満症の治療は食事および運動療法が基本ですが、高度の肥満者では運動療法が困難な場合が多く、食事量の調節が治療の鍵となります。エネルギーバランスは摂取エネルギーと消費エネルギーの総和で規定されており、エネルギー摂取の内訳は全て食事ですが、エネルギー消費の内訳は約60%が基礎代謝、6-10%程度が摂食による熱産生、30%程度が身体活動によって生じることが知られています。このようにエネルギー消費における基礎代謝の占める割合は高く、運動が期待できない重度の肥満者では減量目的で食事量を設定する際、基礎代謝を把握する必要が生じます。本研究では、既に退院した肥満症治療患者さんの診療情報を用いて研究を行い、今後の肥満治療に役立てることを目的とします。

【研究方法】

2013年1月1日～2021年3月31日に糖尿病・内分泌内科に入院した糖尿病患者さんの中で、Body mass indexが30以上の肥満症があり、入院中に間接熱量測定器を用いて基礎代謝値を測定した患者様を対象に、間接熱量測定器を用いて測定した基礎代謝値と食事量（摂取カロリー）を比較し、入院中の減量効果を検討します。得られたデータについては名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科医局において解析を行います。研究期間は2015年9月28日から2021年3月31日までとします。研究成果は論文等により公開いたしますが内容には個人のプライバシーに関わることは含みません。

【費用について】

診療録の臨床所見を使用して行う後ろ向き研究ですので、この研究に際してあなたに費用の負担をお願いすることは一切ありません。

【保有する個人情報に関して】

皆様の資料を分析する際には、氏名・住所・生年月日などの個人情報を取り除き、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で（連結可能匿名化）、厳重に保管します。将来、新たに計画・実施される臨床研究に使用される場合は、新たな倫理審査を経て病院長が承認したことを条件に再使用することがあります。保管終了後に紙媒体に

関してはシュレッダーで裁断し破棄いたします。電磁的データは消去用ソフトにより適切に削除いたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往歴、家族歴、合併症、体重、血圧、腹囲、基礎代謝値、体組成結果、血液検査結果、頭部 MRI 結果、腹部 CT 結果、治療内容及び結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

研究責任者名 有馬 寛

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2142

FAX 番号：052-744-2206

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479